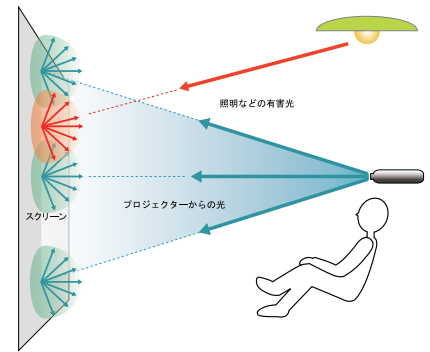
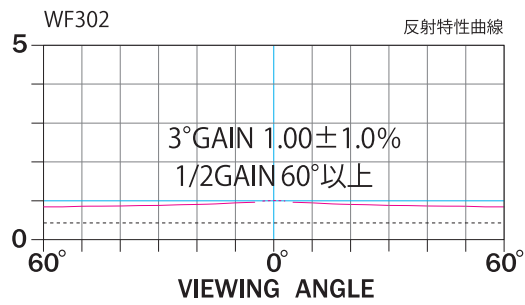


スクリーン生地比較（HF102 が第 4 の生地と言う理由）

2017/08/25 オーエス マーケティング

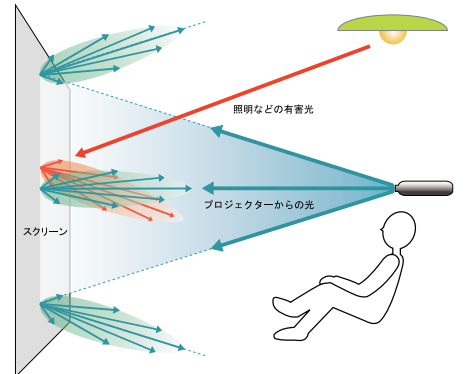
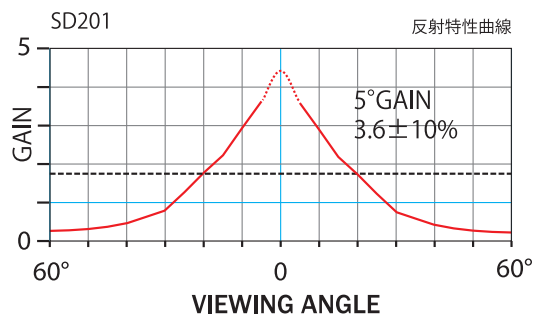
①拡散型（ホワイト）

入ってきた光はお椀を伏せたように、等しい光量で360°拡散します。有害光の影響を受けやすいスクリーンです。



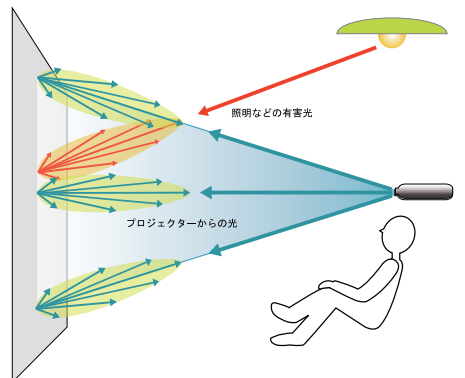
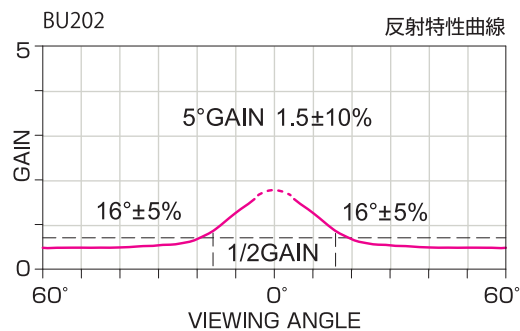
②反射型（パール）

投写された光は、入射角と対称な反射角で跳ね返されます。プロジェクターの上置き設置には有効なスクリーンです。



③回帰型（ビーズ）

入ってきた光を元来た方向に跳ね返します。有害光も同じように跳ね返すため、迷光などにも強いリビングシアターなどにお勧めするスクリーンです。



④広階調型（HDR）

上記 3 つの生地特性に比べ、ゲインが SD201 並みに高く得ることが出来る上、ホワイトマット並みにゲインが 1.0 を下回った後も下降曲線が穏やかで、自然な映像が再現されます。また有害光が入った場合にも、ビーズのように回帰させる特性があります。これが第 4 の反射特性を持つと言う理由です。

